

Q&A

胃食道接合部に高度狭窄をきたした若年男性の 1 例

【問題】

症例：20 歳代，男性。

主訴：嚥下時違和感。

現病歴：201X 年頃より嚥下時違和感を自覚し，近医でプロトンポンプ阻害薬（PPI）を処方された。一時は症状が軽快したものの，次第に嚥下時の頸部・前胸部の違和感が増強したため，当科を紹介受診した。

既往歴：特記事項なし。

生活歴：飲酒歴なし，喫煙歴なし，アレルギー歴 魚介類。

血液検査所見：WBC 6000/ μ L（NEUT 55.6%，

LYMP 28.3%，MONO 5.0%，EOSINO 9.5%，BASO 1.6%），RBC 511 万/ μ L，Hb 15.2g/dL，Hct 44.8%，Plt 27.2 万/ μ L，TP 7.0g/dL，Alb 4.7g/dL，AST 12IU/L，ALT 8IU/L，LDH 143IU/L，ChE 277IU/L， γ -GTP 13IU/L，T-bil 1.0mg/dL，D-bil 0.1mg/dL，ALP 176IU/L，Na 140mEq/L，K 4.3mEq/L，Cl 105mEq/L，UA 4.5mg/dL，BUN 12mg/dL，Cre 0.88mg/dL，IgE 310.6mg/dL。

上部消化管内視鏡画像（Figure 1）。

1. 診断は何か？
2. 治療方針は？

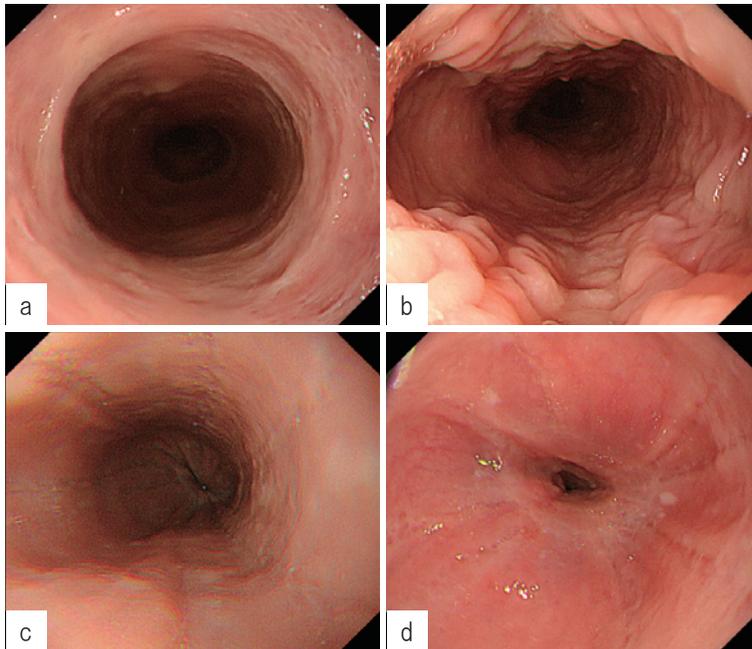


Figure 1. 上部消化管内視鏡検査所見：(a) 上部食道. (b) 中部食道. (c) 下部食道. (d) 胃食道接合部.